

ドメインⅠ. 内部監査の基礎

- ① 下記は「専門職的実施の国際フレームワーク(IPPF)」に示されている「内部監査の使命」に関する記述である。【 A 】、【 B 】、【 C 】にあてはまるのは、次のどれか。
『内部監査の使命は、【 A 】で客観的な、【 B 】、助言および洞察を提供することにより、【 C 】を高め、保全することである。』
- a. A=リスク・ベース B=アシュアランス C=組織体の価値
 - b. A=建設的 B=アシュアランス C=コントロールの質
 - c. A=専門職として規律ある姿勢 B=保証 C=付加価値
 - d. A=独立 B=評価 C=リスクマネジメントおよびコントロールの質

- ② 「内部監査基本規程」の最終承認権限者は誰であるべきか。

- a. 経営者
- b. 取締役会
- c. 監査委員会
- d. CAE (Chief Audit Executive)

ドメインⅡ. 独立性と客観性

- ③ 内部監査部門の独立性を確保するために重要な項目は、次のどれか。

- a. 内部監査人の説明能力の向上
- b. 経営幹部との人間関係
- c. 組織における内部監査部門の位置づけ
- d. 内部監査人の専門的能力の向上

- ④ 内部監査部門の独立性が損なわれていないかどうかを識別するにあたり、もっとも注視すべきでないものは、次のどれか。

- a. 監査対象部門と内部監査人との打ち合わせ記録
- b. 担当内部監査人の業務経歴
- c. 監査調書の記載と監査報告書の記載事項の差異
- d. リスクおよび内部統制を評価する内部監査人の能力

ドメインⅢ. 熟達した専門的能力および専門職としての正当な注意

- ⑤ 内部監査人が、必ず備えているべき資質・能力として適切なものは、次のどれか。

- I. 経済、法律、税制、金融、IT等の専門的能力
- II. 公正性や責任感
- III. 口頭および文書等によるコミュニケーション能力

- a. IとII
- b. IIとIII
- c. IとIII
- d. IとIIとIII

- ⑥ 専門職としての正当な注意を払うにあたり、内部監査人が使用を検討しなければならないのは、次のどれか。

- a. テクノロジー・ベースの監査技法
- b. 統制自己評価(CSA: Control Self Assessment)
- c. COSO等の内部統制のフレームワーク
- d. 継続的モニタリング

ドメインⅣ. 品質のアシユアランスと改善のプログラム

- ⑦ 下記は、品質のアシユアランスと改善のプログラムでいう3つの評価要素の内の2つである。
- ・内部監査部門の、基準、内部監査の定義、倫理綱要への適合性の評価
 - ・内部監査部門の改善の機会を明らかにすること
- 残る1つの要素は、次のどれか。
- 内部監査部門の独立性の評価
 - 内部監査部門の有効性と効率性の評価
 - 内部監査人の専門的能力の評価
 - 監査リスクへの対応状況の評価
- ⑧ 品質のアシユアランスと改善のプログラムは、3種類の品質評価から構成されており、すべてを実施する必要がある。この3種類に含まれないのは、次のどれか。
- 内部評価・継続的モニタリング
 - 内部評価・定期的レビュー
 - 企業グループ評価・定期的レビュー
 - 外部評価

V. ガバナンス、リスク・マネジメントおよびコントロール

- ⑨ リスク・マネジメントにおける内部監査人の役割として適切でないものはどれか。
- リスク・ベースの監査を実施すること
 - 資産保全に関するリスク・エクスポージャー(リスクにさらされている度合い)を評価すること
 - 業務の有効性と効率性を評価すること
 - リスク・マネジメントの有効性について責任を負うこと
- ⑩ リスク・マネジメントプロセスの工程順として適切なものは次のどれか。
- リスクの識別 ⇒ リスク分析 ⇒ リスクへの適切な対応
 - リスクの識別 ⇒ リスクへの適切な対応 ⇒ リスク分析
 - リスク分析 ⇒ リスクへの適切な対応 ⇒ リスクの識別
 - リスク分析 ⇒ リスクの識別 ⇒ リスクへの適切な対応

Ⅵ. 不正リスク

- ⑪ 不正のトライアングルの構成要素に含まれないものは次のどれか。
- 動機
 - 不正の兆候
 - 機会
 - 正当化
- ⑫ 不正関連の尋問(被疑者へのインタビュー)の説明で適切なものは次のどれか。
- 内部監査で実施する通常のインタビューの目的と同じく、事実の収集である。
 - インタビューから得られた情報は、争点になりそうな事項だけ記述し、それ以外の記述は残さないようにする。
 - 犯罪の嫌疑をかけてインタビューを行うと、組織が法的責任を負わされる場合がある。
 - インタビューを受けた従業員は、終了後に通常の執務場所に戻し業務を遂行させる。